

# にっしんESD講座通信

## 2021年6月26日

### 無農薬・有機栽培お米作りの1年を体験しよう

4 質の高い教育を  
みんなに



11 住み続けられる  
まちづくりを



13 気候変動に  
具体的な対策を



17 パートナーシップで  
目標を達成しよう



田植えから収穫までを全6回の講座に分けて行うお米作り体験の第2回、除草作業と自然観察会が折戸町にある「さんかくたんぼ」で行われました。

この講座は、自然の楽しさや大切さを伝え、持続可能な社会の担い手を育む「人づくり」を目指すESD(持続可能な開発のための教育)活動の一環として行われています。



この講座を企画運営するにっしん市民環境ネットの石黒悠子さんは、「無農薬・有機栽培の方法でお米を作ることで除草作業が大変になる。しかし、生態系に悪影響を及ぼさないように、さまざまな生き物がさんかくたんぼにはいる」と話してくれました。

この日は、除草作業をしつつ、田んぼにいる生き物の観察会も行いました。子どもたちは、自分が捕まえた生き物の説明を講師の鬼頭弘さんから聞きながら、熱心に観察していました。次々と生き物を捕まえて、講師に見せに行く子どもたちはとても楽しそうでした。



田んぼにはよく目を凝らして見ないと気付かない小さな生き物がたくさんいます。無農薬・有機栽培だからこそ見ることができる生き物もいます。お米づくり体験を通して、田んぼの豊かな生態系を保全することの大切さを学ぶ機会になりました。